

5 歳児保育指導案

日時 令和2年11月6日(金)

10:20~11:00

指導者 5歳児担任 齋藤奈菜恵

1 単元名 「劇～ももたろう～」

2 単元について

(1) ねらいについて

本校では毎年11月に学校行事として文化祭が計画されており、幼稚部は日本昔話や世界の童話の劇を発表している。子どもたちは劇を通して物語の世界観に触れ、話の流れをより深く理解したり登場人物の気持ちを考えたりすることができる。また、せりふを覚えることを通して言葉や正しい日本語の構文を習得し、日常会話へも般化させることができる。さらに、舞台発表で家族に見てもらうことは子どもたちの意欲を高め、練習に意欲的に取り組むことができる。練習し自信をもって表現することは楽しさや喜びと同時に達成感を得ることができる。と考える。

(2) 幼児の実態

本学級は年長児4人が在籍している。1人は両耳補聴器装用で、2人は両耳人工内耳装用、1人は人工内耳と補聴器装用である。A児、B児、C児の主なコミュニケーション手段は音声言語で、経験したことや、テレビで見たこと、人からきいたことなどを話すことができる。絵本が好きでたくさんの昔話を知っていて、有名なフレーズを言ったり、大まかな話の流れを言ったりすることができる。D児の主なコミュニケーション手段は身振りサイン、手話、指文字で、目の前で起こったことや、印象に残った経験などを主に教師に伝えることができる。絵本については挿絵を見て気付いたことを話したり、知っている場面を身振りで表現したりする段階で、話全体の内容を捉えたり登場人物の気持ちを考えたりすることは難しい。4人とも劇については年少、年中児に文化祭を経験していて見通しをもっている。好きな活動だが自信がなく声が小さくなったり、表情が乏しかったりする子もいる。言葉の面では発音できているつもりになっていたたり、リズムや抑揚が不自然になったりすることもある。また、子どもたち同士の関わりでは自分の主張を通そうとする気持ちが強かったり、友達の意見を素直に聞くことが難しかったりしてトラブルになることがある。

(3) 指導上の留意点

子どもたちが桃太郎の話の流れをつかむことができるよう、単元の導入では絵本の読みきかせをしたり、ペープサートを使って遊んだりする。また、劇の流れを覚えたり、自分の演じる役のイメージをもったりできるように保護者による劇を参観する時間を設けたい。

劇の練習の後は振り返りの時間を設ける。振り返りの冒頭では役の名前や配役、出てくる道具など言葉の確認をする。自分たちの劇の動画を見て振り返り、良かったところやもっと工夫できるところを友達と話し合い、次の練習に生かしたい。その際、登場人物の心情にも触れ、表情を作ったり役になりきってせりふを言ったりできるようにしたい。また、自分だけではなく友達の頑張りに気付いたり認めたりできるように言葉掛けしていきたい。さらに今回は4歳児、5歳児合同で桃太郎の劇に取り組む。年長児として練習をリードしたり年下の友達にやさしく言葉を掛けたりする経験を通して思いやりの気持ちを育てたい。

この単元全体を通して、頑張って練習をすると認められるという経験を積み、達成感を得ることで自己肯定感を高めたい。

3 単元の目標

- ・ 物語の流れを理解し、登場人物の気持ちを想像することができる。
- ・ 発音、抑揚、表情、身振り、声量等に気を付けながらせりふを言うことができる。
- ・ 友達や自分の頑張りに気付き、認めたり称賛したりすることができる。

4 単元の評価規準

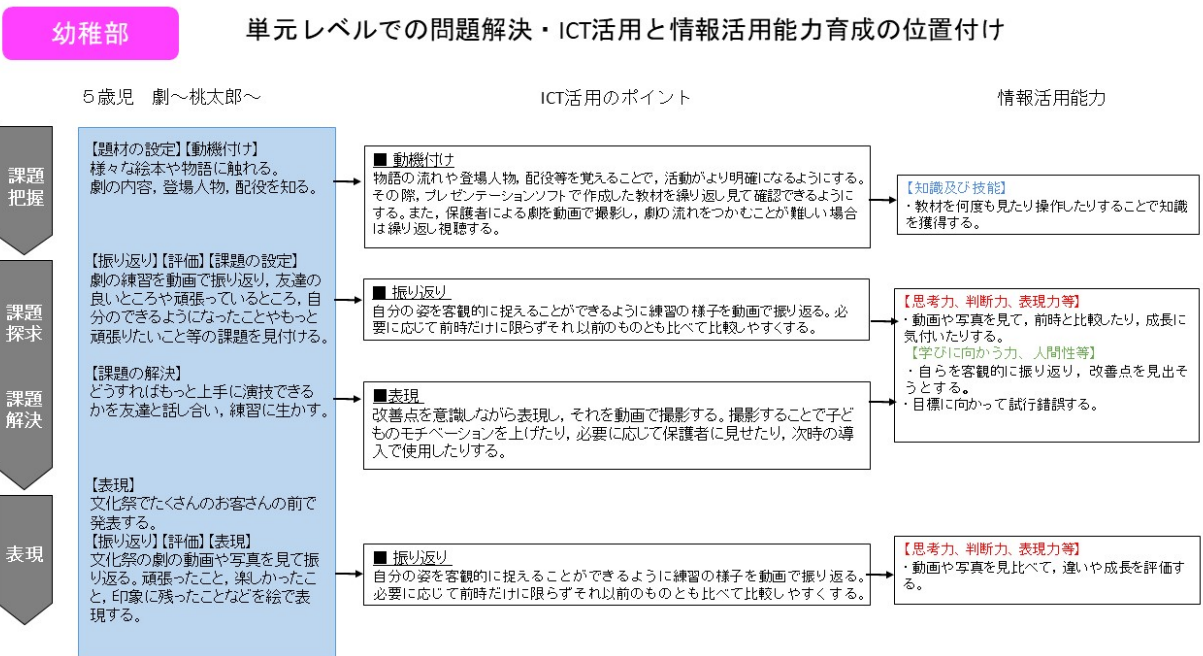
知識・技能の基礎	思考・判断・表現の基礎	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 桃太郎の話の流れを理解している。 ・ 自分のせりふを覚えてタイミングよく言える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発音、抑揚、表情、身振り等に気を付けながらせりふが言える。 ・ 覚えた言葉や表現を日常生活で使うことができている。 ・ 登場人物の気持ちを考えて発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 劇を家族や友達に見せたいという気持ちをもっている。 ・ 友達が頑張っていることに気付いている。 ・ 年下の友達が困っているときに言葉を掛けている。

5 指導計画及び具体的な評価規準（19時間取扱い）

時	保育活動	指導上の留意事項	具体的な評価規準・評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 桃太郎の絵本を読む。 ○ 配役を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身振りや手話を交えながら絵本の読み聞かせをする。 ・ 役の絵カードや個人の写真カードを黒板に貼ったり、役のお面を渡したりして登場人物や配役が視覚的に分かるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 桃太郎の話の流れが理解できたか。 ・ 桃太郎の登場人物、配役を覚えることができたか。
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者の劇を見る。 ○ 保護者と一緒に演じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが自分の役に注目できるように言葉掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 劇の流れが理解できたか。
15	<ul style="list-style-type: none"> ○ 劇の練習をする。 ○ 練習の振り返りをする。 (本時5 / 15) ○ 大道具を作る。 ○ 幼稚部発表に参加する。 ○ 校内発表に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭と協力しながらせりふカード（せりふを平仮名で書き出したり、せりふにイラストを添えたりしたもの）を作成する。 ・ 絵本を読み返し、登場人物の気持ちを友達と一緒に考える。 ・ 練習の様子を撮影した動画を見て振り返り、子どもたちの良いところや頑張りを伝える。 ・ 表情や手話の見本を示したり、抑揚を視覚的に示したりする。 ・ 大道具製作の中で、友達との関わりややり取りができる場面を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のせりふを覚えることができたか。 ・ せりふを言うタイミングが自分で分かるか。 ・ 登場人物の気持ちを考えたり理解したりできたか。 ・ 友達の良いところや頑張っているところを見付けることができたか。 ・ 年下の友達が困っているときに言葉を掛けることができたか。 ・ 発音、抑揚、表情、手話、声量等に気を付けてせりふが言えたか。 ・ 自分がしたいことを言葉で伝えることができたか。

			<ul style="list-style-type: none"> 手伝って欲しいときに友達にお願いしたり、友達が困っているときに助けたりできたか。
1	○ 文化祭で劇の発表をする。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが自信をもって劇に臨めるよう、これまでの頑張りを称賛する言葉掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音、抑揚、表情、手話、音量等に気を付けてせりふが言えたか。
1	○ 文化祭の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 写真や動画を使って劇を振り返る。 子どもが努力していたこと、できるようになったこと等を教師が分かりやすく伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 頑張ったことや楽しかったことを自分で考えて発表できたか。 友達の良いところ、頑張ったところを見つけて発表できたか。

6 単元全体での ICT 活用と情報活用能力の育成



7 本時の展開（ 6 / 17 時間）

（1）目標

- 友達の良いところや頑張っているところを見付けることができる。
- 劇の中で頑張りたいことを考えて発表することができる。

（2）個人の目標

A 児	<ul style="list-style-type: none"> 教師が挙げる視点を思い出しながら動画を見て、自分で友達の良いところや頑張っているところを見付けることができる。 劇の中で頑張りたいことを自分で考えて発表することができる。
B 児	<ul style="list-style-type: none"> 教師が挙げる視点や言葉掛けを基に、友達の良いところや頑張っているところを見付けることができる。 劇の中で頑張りたいことを友達と一緒に考えて発表することができる。
C 児	<ul style="list-style-type: none"> 友達の発表をヒントにして、友達の良いところや頑張っているところを見付けることができる。

	<ul style="list-style-type: none"> 劇の中で頑張りたいことを自分で考えて発表することができる。
D児	<ul style="list-style-type: none"> 教師と一緒に友達の良いところや頑張っているところを見付けることができる。 選択肢の中から劇の中で頑張りたいことを選んで発表することができる。

(3) 指導にあたって

子どもたちは年少時、年中時と文化祭の劇を経験してきた。練習ではせりふを言うときに気を付けることを教師から練習後に動画で自分たちの様子を振り返り、教師と一緒に次の練習で頑張ることを考えられるようになっている。

本時の導入では、見える校内放送とモニターを使って、劇の題名、役の名前、配役等を覚えているか確認をする。その際、言葉を正しく覚えているかどうか指文字や文字で確認したい。特にD児は4音以上の言葉を覚えることが難しいので口声模倣を促したり、繰り返し確認したりする。

また、前時の劇の練習を振り返るために動画を見る。動画を見る前に、声の大きさ、身振りや手話の分かりやすさ、表情等の動画を見る視点を挙げて絵カードを掲示していく。また、視聴中は子どもの頑張っているところ、良くなったところ、もう少し頑張してほしいところなどを教師が伝えるようにする。それを基に友達の良いところや頑張っているところ、自分が次の練習に向けて頑張りたいことを見付けることができるようにしたい。

終末は、子どもたちが発表した次の練習で頑張りたいことを基に、発音、抑揚、表情、手話、声量等に気を付けてせりふを言う時間を設定する。その際、子どもたちにタブレットで撮影することを伝え意欲を高めたい。撮影した動画は必要があればその場で見るが、その他保護者に見せたり、次時の導入で使用したりしたい。

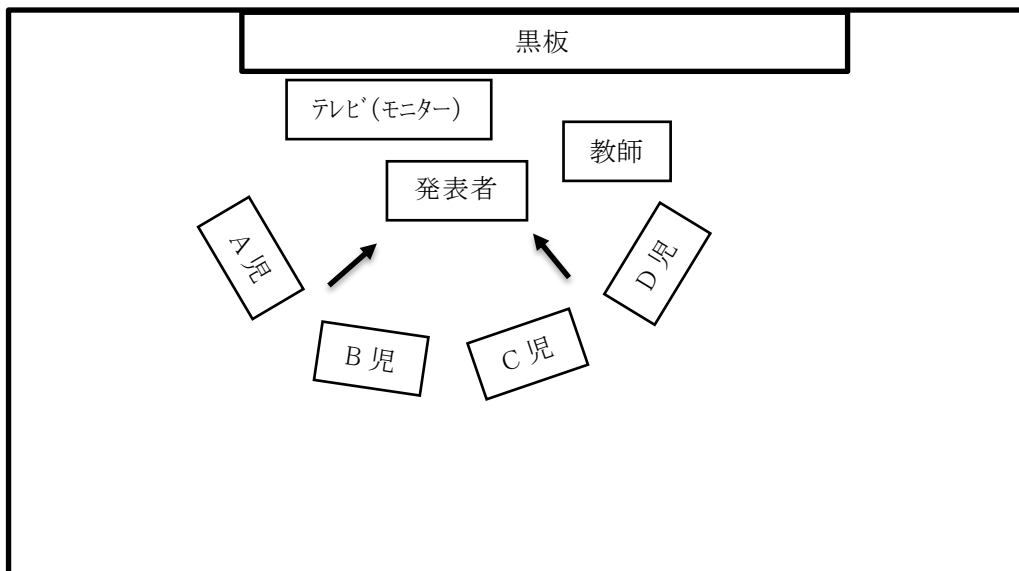
D児において、話の内容の理解が難しいときは、子どもたちに手話や身振りを使うように促したり、教師が分かりやすく伝えたり、黒板にイラストをかいたりして理解を促したい。

(4) 展開

過程	保育活動、◎主な発問 ●予想される幼児の反応	指導上の留意点・評価 ○留意点 ☆評価	□ICT活用
導入 10分	1 劇の題名、役の名前、配役等を確認する。	○ 劇の題名、役の名前、配役等を正しく覚えているか音声、手話、指文字、文字で確認する。	□ 正しく言葉を覚えられるよう、また集中して復習ができるよう、モニターにイラストや写真や文字を映す。
展開 20分	2 せりふを言うときに気を付けることを確認する。 ◎ せりふを言うときに気を付けることは何かな？ ● 大きな声で言う。 ● ゆっくり話す。 ● 手話を大きくする。 ● 表情を付ける。 3 前時の劇の練習の動画を見る。	○ 子どもたちの話を共感的に受け止める。 ○ 子どもたちから出た気を付けること（動画を見る際の視点）をイラスト付きで掲示する。 ○ 教師は動画を見ながら子どもたちの良かったところ、頑張っているところを伝える。	□ 動画を見ることで前時の劇の練習を思い出したり、自分の様子を客観的に見たりできるようにする。

	<p>4 気付いたことを話す。</p> <p>◎ ○○くん（ちゃん）はどこが上手だったかな。</p> <p>●大きな声だった。</p> <p>●手話が大きくできていた。</p> <p>●しっかり先生を見ていた。</p> <p>5 次の練習で頑張りたいことを発表する。</p> <p>◎ もっと上手になりたいね。次の練習では、どこに気を付けようかな。</p> <p>●表情に気を付ける。</p> <p>●ゆっくりせりふを言う。</p> <p>●手話を大きくする。</p>	<p>たところ、次の練習で頑張ってほしいところなどを言葉掛けする。</p> <p>○ 子ども同士で話が伝わらなかったときは、指文字や手話を使うように促したり、子どもによってはイラストをかいて説明したりする。</p> <p>○ 子どもの表現は必要に応じて言葉を補足したり、口声模倣を促したりする。</p> <p>○ 初めて聞く言葉や、間違えて覚えている言葉は指文字や平仮名を板書して確認する。</p> <p>☆ 友達の良いところを見付けたら、自分が頑張りたいことを考えたりすることができたか。</p>	
<p>終末 10分</p>	<p>6 声量や抑揚や動きに気を付けながらせりふを言ったり、演技をしたりする。</p>	<p>○ 動画を撮ることを伝え、子どもたちの意欲を高める。</p> <p>○ 声量や抑揚や動きに気を付けながらせりふを言ったり、演技したりできたときは称賛する。</p>	<p>□タブレットで動画を撮ることで、意識したところやできたか子どもたちが自分で評価できるようにする。</p>

(5) 場の設定



(6) 個人の評価

<p>A児</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教師が挙げる視点を思い出しながら動画を見て、自分で友達の良いところや頑張っているところを見付けることができたか。 劇の中で頑張りたいことを自分で考えて発表することができたか。
<p>B児</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教師が挙げる視点や言葉掛けを基に、友達の良いところや頑張っているところ

	<p>を見付けることができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 劇の中で頑張りたいことを友達と一緒に考えて発表することができたか。
C児	<ul style="list-style-type: none"> 友達の発表をヒントにして、友達の良いところや頑張っているところを見付けることができたか。 劇の中で頑張りたいことを自分で考えて発表することができたか。
D児	<ul style="list-style-type: none"> 教師と一緒に友達の良いところや頑張っているところを見付けることができたか。 選択肢の中から劇の中で頑張りたいことを選んで発表することができたか。